

AUTUMN

2006

Vol.24

**Nagakute Cultural Center Information Magazine**

長久手町文化の家情報誌

この情報誌では文化の家が行なう事業や文化の家で展開されるさまざまな活動を紹介するとともに町の芸術文化情報をお知らせします。

## CONTENTS

○ 特集	2
文化の家の取り組み	
その1 学校との連携	
その2 ガレリア・コンサート	
○ TOPICS	8
○ INFORMATION	10



### 学校とアートの出会い

アウトリーチという言葉が使われるようになって久しくなります。開館8周年を迎えた文化の家では、数多くのイベントを開催する中で、町内の学校との結びつきに着目するようになりました。特に思春期を迎えた中学生から高校生へのアプローチに重点を置き、6年前から吹奏楽クリニック、そして昨年からは、中学校の音楽室でアーティストが授業を行なうエデュケーション・プログラム「で・あーと」が始まりました。

### 「創客」のための種蒔き

劇場へいかに足を運んでもらうか、これは永遠の課題。昨今のインターネットやさまざまなメディアからの情報が氾濫しているにもかかわらず、いまだアートと出会う機会は少なく、価値観がメディアに取り上げられたものに偏ってしまう傾向にあります。そんな中「創客」という言葉がクローズアップされてきました。つまり、劇場が独自の方法でアートの魅力を発信し、みずからお客さんを創るという試みです。そこで注目したのが「学校」です。

中学・高校という時期は、人格形成、物事への関心や感受性が育まれる最も重要な時期です。そこで、普段から多くのアーティストとの関わりを持つ劇場の人脈とノウハウを学校へ持ち込み、生徒さんたちに通常の学校生活の中に本格的なアートもしくはアーティストとの出会いの場をつくりました。記憶に深く残るような出会いを実現することで、将来の「創客」への種蒔きを行うことが、「学校」とのタイアップの大きな目標です。



「今日伝えたくさんのメッセージは、すべてバーンスタインや小澤征爾から受け継いだもの」と佐渡裕氏(吹奏楽クリニック「佐渡さんと音楽で握手!」)

# 家の取り組み その1

## ～学校との連携～



兵庫芸術文化センター管弦楽団のメンバーも加わり、150人もの大合奏がみるみるうちにまとまりました（吹奏楽クリニック「佐渡さんと音楽で握手！」）

### 2006年上半期、充実した学校とのタイアップ 2つの吹奏楽クリニック

#### ①吹奏楽クリニック「佐渡さんと音楽で握手！」

今年の4月には、世界的に活躍する指揮者・佐渡裕さんと兵庫芸術文化センター管弦楽団の公演に先がけて、長久手町内の中学校と高校の吹奏楽部を対象に、佐渡さんと楽団メンバーによる吹奏楽クリニックを行いました。

佐渡さんは、クラシックのみならず、吹奏楽ファンの間でもカリスマ的な存在で、まさに夢が実現する瞬間でした。熱きマエストロとして知られる佐渡さんは、このクリニックでも全力投球。「ボクの原点は学校で吹いたこの縦笛」と自ら演奏を披露。「人と出会う時、音を出す時、つねに勇気を持って一歩前に踏み出そう！世界中で活躍するアーティストは、みんなその勇気を持っている！」と温かいメッセージが伝えられました。

#### ②吹奏楽クリニック（愛知県立芸術大学との提携事業）

5月には、恒例となった提携事業の愛知県立芸術大学による吹奏楽クリニックが行われました。このクリニックの対象は、「佐渡さんと音楽で握手！」と同じく町内の中学・



「出会いを大切に」と温かいメッセージが送られました（吹奏楽クリニック「佐渡さんと音楽で握手！」）

高校の4つの吹奏楽部。文化の家全館を貸し切りにし、各部屋に分かれて、県立芸大の学生さんたちにより、楽器別の指導や全員によるブレスコントロール、合奏のクリニックが1日かけて行われました。芸術大学のある町に住む子どもたちにとって、スキルアップはもちろんのこと、身近で憧れの存在となる未来のアーティストたちとの交流の機会となっています。



全館使って行われる楽器別クリニック(県芸吹奏楽クリニック)

## ■2つのアウトリーチ

### ①エデュケーション・プログラム で・あーと2006 「炸裂クインテット」

6月には地元の新進アーティスト育成事業「新しい波」シリーズで、今年の出演者となった愛知県立芸術大学出身のヴァイオリニスト平光真彌さん率いるMens La (メンズラー)のメンバー5人が、エデュケーション・プログラム「で・あーと」に参加し、長久手中学校と南中学校で延べ6時間以上にわたるパフォーマンスを行いました。学校、アーティスト、文化の家の三者によって綿密な打合せを何度も行い、学校のニーズ、学年の違いによるプログラムの変化、アーティストの音楽性などの接点を見出していきました。生徒たちは全力投球で演奏するメンバーの前に釘づけ。即興演奏や合唱、琴、リコーダーなどによる合同演奏、楽器紹介、質問コーナー、そして給食時間での校内縦断ゲリラ演奏など、盛りだくさんの内容で学校内が湧き上がりました。

### ②ステージラボ・自主事業Ⅰ音楽コース・ゼミ2 「アウトリーチプログラムを体験する」

7月は、(財)地域創造との提携による「ステージラボ」のプログラムの一環として、長久手町立東小学校でアウトリーチを行いました。「ステージラボ」は、同財団が主催して毎年全国各地で行っている、公共施設で自主事業を行う制作担当者のための研修会。そこでも「学校」へのアプローチの重要性について講じられ、同財団に登録されている若手アーティストらによってマリンバやいろいろな小道具を使ったパフォーマンスが披露されました。

※アウトリーチとは…本来、手をのばす、手を差しのべるといった意味で、芸術活動の場合は、芸術に接する機会や関心がない人々に対し、芸術への興味と関心をもたせるために芸術家・企画者側から働きかける様々な活動を言う。



全体のクリニックでは、ブレスや姿勢などの基礎をいろいろな小道具を使っていろいろに指導(県芸吹奏楽クリニック)



体を楽器に見たてた、「ボディパーカッション」で盛り上がる子どもたち(ステージラボ「アウトリーチプログラムを体験する」)

## ■子どもたちの反応

### ○佐渡さんのクリニック（インタビュー）

- ・世界的な指揮者に教えていただいて、とても嬉しかったです。
- ・自分の音や周りの人たちの音が、みるみる変わっていくのがよくわかり驚きました。
- ・考えて演奏する、ということを知りました。

### ○県芸吹奏楽クリニック（アンケート）

- ・日ごろの練習がまだ足りないと思った。地味な練習の大切さがわかった。（長中2年）
- ・県芸を目指しているので、とても期待していました。中学からやっているのが4回目の参加です。（中略）今までおろそかにしていた練習方法を見直すきっかけになりました。（長高2年）

### ○で・あーと（アンケート）

- ・クラシックって思ったより迫力があつた。小さい頃に聴いたときは、すぐに劇場の外へ出て行ってしまいうくらい堅苦しかったけど、今日の演奏は、気分も明るくなるようなものばかりでした。（南中1年）
- ・とても勉強になったし、ブラームスについて興味がわきました。（長中2年）
- ・5人でやっているのにすごい迫力があつた。自分の名前の曲を作ってもらえてうれしかった。（長中3年）

### ○ステージラボ（レポート）

- ・アンケートやインタビューは行っていませんが、特にマリンバの浜まゆみさんのプログラムは、ボディーパーカッションなどで子どもたちが参加するコーナーが充実しており、教室一体で盛り上がりました。



教室で「炸裂」するクラシック音楽（エデュケーションプログラム「で・あーと2006」）

## ■まとめ

学校との結びつきは「創客」への第一歩として、10年以上先を見据えた息の長さがあって初めて実を結ぶと考えています。そして、もっと重要なことは、このアートとの出会いが子どもたちにとって忘れられない記憶として、人生を歩むための視野を広げるきっかけになれば、これ以上の成果はないと言えるでしょう。



「間近で楽しんでほしい!」という演奏者たちは、とうとう生徒たちの中に飛び込んだ!（エデュケーションプログラム「で・あーと2006」）

## ■劇場へ足を運ぶクセを

長久手町文化の家では、地元の人たちに気軽に足を運んでいただき、身近な形でアートと触れ合う機会を提供する目的で、年に4～5回ガレリア・コンサートを行ってきました。このコンサートは、文化の家を東西に貫くガレリアと呼ばれる回廊の中心部にあるアトリウムで行われます。アトリウムは、中世ヨーロッパの街並をイメージした空間で、自然光の差し込む吹き抜けになっています。この場所は、石造りのため残響時間が長く、アコースティック楽器が豊かに響くという特徴を持っています。

2006年からは、その特徴を活かし、より多くの人たちが気軽に文化の家に足を運んでもらえるよう、月に1回のペースでガレリア・コンサートを開催することになりました。



## ■集客のためのさまざまなアプローチ

リニューアルしたガレリア・コンサートは、さまざまな客層を対象としたアプローチをしています。

基本パターンは、平日（主に休館日の翌日）の午前11時から。これは、平日の昼間に時間的に余裕のある、主婦層や中高年層をターゲットにし、少しでも文化の家を訪れ、音楽を気楽に楽しんでもらえるよう計画しました。

もう一つのパターンとしては、ホール公演等の関連企画やプレ事業として行なうものがあります。例えば、4月に行なった佐渡裕&兵庫芸術文化センター管弦楽団の公演です。プレ事業として開場前にオーケストラ・メンバーによる室内楽のコンサートを行いました。8月には、北欧LIFEという2ヶ月間にわたるイベントの一環として、この事業の関心を高める目的でミニストレル・オードのコンサートを行いました。また、夏休み期間中には子ども向けの大道芸を行い、コンサート以外のパフォーマンスなども計画し、この広場的スペースを幅広く活用するようにしました。

## ■アーティスト・内容について

ガレリア・コンサートでは、アーティストのクオリティはもちろんのこと、十分なコミュニケーションを取り、コンサートの趣旨への理解を重視しています。プログラムは、事前にアーティスト側と季節や意図を考慮し、過度にハイレベルなものやポピュラーに走らない内容を心がけています。



兵庫芸術センター管弦楽団のメンバーによる室内楽（4月）

## 平成18（2006）年度ガレリア・コンサート

4月12日（水） 午後6時から

兵庫芸術文化センター管弦楽団メンバーによる室内楽

○出演 同上 ☆来場者 120人

※佐渡裕&兵庫芸術文化センター管弦楽団関連企画

5月9日（火） 午前11時から

情熱のスパニッシュギター

○出演 大嶋芳（ギター） ☆来場者 70人

6月9日（金） 午前11時から

文化の家発信!創造スタッフコンサート

○出演 武田美保（ソプラノ）、横田真規子（ヴァイオリン）、市橋あゆみ（ピアノ）

☆来場者 90人

7月29日（土） 午後1時から

ミニストレル・オード・コンサート

○出演 大森ヒデノリ（フィドル）、岡崎泰正（ギター）

☆来場者 80人

※北欧LIFE関連企画



クラウン・クスクス(8月)

**8月8日(火) 午前11時から**  
**クラウン・クスクスのストリートパフォーマンス**  
 ○出演 クスクス ☆来場者 110人

**9月17日(日) 午後3時30分から**  
**幕間の休日～長久手フォレスト合奏団によるストリングスの調べ～**  
 ○出演 長久手フォレスト合奏団  
 ☆来場者 130人  
 ※第4回長久手オペラ声楽コンクール関連企画

**10月11日(水) 午前11時から**  
**秋色デュオ～フルートとギター**  
 ○出演 日置智美(フルート)、山田陽介(ギター)  
 ☆来場者 80人

**11月以降は、開催予定**

**11月14日(火) 午前11時から**  
**17歳の夢～アコースティックギター**  
 ○出演 二宮楽(ギター)

**12月16日(土) 正午から**  
**クリスマスコンサート(仮)**  
 ○出演 文化の家創造スタッフほか

**平成19年1月10日(水) 午前11時から**  
**カルテットで行こう!**  
 ○出演 カルテット・ヴォーノ(愛知室内オーケストラメンバー)

**2月14日(水) 正午から**  
**ひかり**  
 ○出演 影島清美(オイリュトミー)、鼓歌(太鼓)、鈴木里美(ピアノ)、達村真理子(ヴァイオリン)

**3月13日(火) 午前11時から**  
**ソプラノ・コンサート(仮)**  
 ○出演 原田美奈(ソプラノ)、小見山純一(ピアノ)ほか

### ■4月から600人を越える来場

リニューアルしたガレリア・コンサートは、10月までに600人を越える動員がありました。興味深いことは、内容によって客層が変わっている点です。例えば、5月の大嶋芳さんのギターのコンサートでは圧倒的に中高年層の男性が多く、6月の創造スタッフコンサートでは、歌を中心としたプログラムを組んだ結果、女性の来場が多くを占めました。

当初、実験的に計画していた「平日の午前中」という時間帯の開催についても、平均して80人の安定した動員がありました。ただ、予定にしていた親子連れの客層へのアピールが弱かったようで、内容について今後の課題となりました。



幕間の休息 長久手フォレスト合奏団(9月)

### ■無理のない運営

ガレリア・コンサートは、会場の設営等にはほとんど手をかけていません。ステージや客席を設営したりするのではなく、普段はパブリックスペースとして、あるものを移動させて利用するだけです。アトリウムは、文化の家来場者が自由に行き交うことのできる広場です。その空間をそのまま活かし、あえて手をかけ過ぎずにこのイベントを長く続けていきたいと思えます。

何気なく立ち寄ったところ(文化の家)に、どこからか生演奏が聞こえ、音に誘われて行って見たらアトリウムだった。そんな憩いの時間、空間を提供していきたいと考えていますので、気軽にお立ち寄りください。

# Opera Competition TOPICS

期間中2000人(延べ)の来場者!

## 第4回 長久手オペラ声楽 コンクール

第一位は 静岡県出身の  
高田智宏さん!

森のホールで9月13日(水)から17日(日)までの5日間にわたり、「第4回長久手オペラ声楽コンクール」を開催しました。国内外から長久手に集結した実力者の中から、静岡県出身の高田智宏さん(29歳)が見事第1位を獲得し、表彰状と賞金100万円を手に入れました。

このコンクールは、2000年から開催している長久手町文化の家の柱となる事業で、オペラの本場イタリア・ドイツなどから、現役指揮者や大学教授を審査委員として招聘し、隔年で開催している国際オペラ声楽コンクールです。前回の第3回からは受付や司会などを地元住民のみなさんが行う専属ボランティア、NOCS(Nagakute Opera Competition Staff)が組織され、運営面の全般が行われるようになりました。

さて、今回の参加者は過去最多の85人。1次予選は、ヘンデル、モーツァルトといった作曲家限定のオペラアリア、2次予選は歌曲2曲、本選はオペラアリア2曲で競われ、アリアだけでなく歌曲もレパートリーとできるバランスのとれた声楽家の発掘に重点を置きました。

コンクールでは、第1次予選からハイレベルな歌声が響き渡り、第1次・第2次予選を勝ち上がった11人が本選に出場しました。本選では、ほぼ満席の客席から「ブ

ラボー」の声も聞かれ、僅差の大接戦になりました。結果は、優れた技術に加え、安定した歌唱力と落ち着いた精神力を持ちあわせた、高田智宏さんが第1位を獲得しました。

5人の受賞者は、平成19年7月8日(日)に、文化の家森のホールでの受賞者記念演奏会への出演が決まっています。

受賞者のみなさん、本当におめでとうございます。



第1位

タカ ダ トモ ヒロ  
高田智宏

### 5日間を通しての感想は

一生懸命がんばりました。5日間、自分の声のコンディションを整えておくということが本当で大変でした。しかし、会場では非常に良い環境の中で歌わせていただけたことを感謝しています。

### 受賞した時の感想は

正直自分の歌が納得いかなかったのでびっくりしましたが、自分のバランスを評価していただけたのかと感謝しています。

### 今後の活動について一言

今ドイツに住んでいるのですが、どんどん勉強して世界の舞台に立てる歌手になりたいと思っています。



第2位

テラ ダ コウ ジ  
寺田功治

### 5日間を通しての感想は

楽しかったのですが、5日間毎日コンディションを整えるというのは大変だなと思いました。また、このホールがとても良いホールだったので非常に歌いやすかったです。

### 受賞した時の感想は

1位じゃないので悔しい部分はありますが、名前を呼ばれてうれしく思います。

### 今後の活動について一言

今年の後半ぐらいからロンドンに留学予定で、来年は国内で「カルメン」や「フィガロの結婚」を行う予定をしています。





コンクールにはたくさんの来場者が訪れました



オペラコンクール本選の結果集計の間には、ガレリアコンサートも行われ、多くの人が弦楽合奏を聴き、音楽に包まれたひと時を楽しく過ごしました。

### ボランティアのみなさん、お疲れ様でした

ボランティアのみなさんは、この5日間、受付や案内業務などさまざまな形でこのコンクールに関わってきました。そこで、みなさんの一部の声とそのときの模様を掲載します。

- ・とても楽しかったです。カメラマンをやりましたが、ファインダー越しにボランティアのみんなの楽しそうな表情がよく分かりました。
- ・とても良い経験をさせていただきました。ありがとうございます。
- ・出演者の生の顔を見ることができて、とても楽しかったです。
- ・第一回目から聴かせていただいています、年々レベルが向上しているので感心しています。
- ・楽屋、音楽室、ホールを何度も行き来し大変でしたが、すばらしいオペラコンクールのお手伝いできたことを本当に喜んでいます。
- ・とても楽しかったです。再来年もまた時間が合えば参加したいです。



第3位

イトウ アキコ  
伊藤=エンデ晶子

#### 5日間を通しての感想は

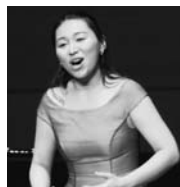
この森のホールに入ったのも利用したのも初めてで、ホールの美しさや音響の良さに驚きました。とても気持ち良く歌うことができました。

#### 受賞した時の感想は

まだ実感がなく、「終わってしまった」「私なのかしら」という感じです。多分今晚ぐらいに実感がわくと思いますが、とてもうれしく光栄に思っています。

#### 今後の活動について一言

今はドイツに住んでいます、機会を見つけてこの長久手の文化の家で活動することができれば、とてもうれしく思います。



入選  
審査委員特別賞  
ナカムラ マキ  
中村真紀

#### 5日間を通しての感想は

すごく素敵なホールで、とにかく楽しかったです。

#### 受賞した時の感想は

自分としては、少し残念な気持ちもありますが、2つの賞を受賞することができ、とても嬉しく思います。

#### 今後の活動について一言

今ハンガリーのブダペストに住んでいますが、またコンサート活動とかオーディションを受けたりする予定です。



入選

チョウマオ リン  
張茂林

#### 5日間を通しての感想は

今まで自分の勉強してきたことを、みなさんに聴いていただけたことを嬉しく思っています。

#### 受賞した時の感想は

結果には満足していませんが、みなさんには感謝しています。

#### 今後の活動について一言

もっといろいろなコンサートを行って、みなさんに私の歌を聴いて欲しいと思っています。

## 提携事業

### 名古屋コンサート協会X ～冬の饗宴、バロックから文部省唱歌まで～

地元アーティストを中心とした、ピアノ・ソロ、デュオ、ギター、声楽、弦楽四重奏などの実力派たちの演奏をお楽しみください

- 【と き】 12月1日（金）午後7時開演  
 【ところ】 森のホール  
 【入場料】 前売 一般：2,000円、フレンズ：1,800円  
 当日 共通：2,500円  
 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください



## 提携事業

### 愛知県立芸術大学大学院オペラ公演 「こうもり」

毎年恒例のオペラ公演です。県芸が総力をあげて創り上げる本格的な舞台上、ウィーンの華やかな喜劇をお楽しみください

- 【と き】 12月9日（土）午後5時開演  
 10日（日）午後2時開演  
 【ところ】 森のホール  
 【入場料】 全指定席 A席：2,000円、B席：1,000円  
 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください



※前回公演「カルメン」より

## 踊りに行くぜ!! vol.7

今年で3回目の開催となる、「踊りに行くぜ!!」。長久手で行われた選考会で選ばれた出演者のほか、全国で注目を集める新進アーティストが出演します。まだまだ見る機会の少ない、コンテンポラリーダンスの魅力を体感できます。

- 【と き】 平成18年12月16日（土）  
 午後6時開演  
 【ところ】 風のホール  
 【入場料】 前売 一般：2,500円  
 フレンズ：2,000円  
 学 生：1,500円  
 当日 一般：3,000円  
 フレンズ：3,000円  
 学 生：1,800円  
 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください



康本雅子 photo/宮下マキ

## 長久手演劇王国vol.7

### 第4回Jr.ライト級チャンピオンタイトルマッチ 劇王IV

ゲスト審査員と観客の投票により「第4回劇王」を選びます。岸田國士戯曲賞、AAF戯曲賞、仙台劇のまち戯曲賞大賞など、全国の受賞作家が繰り広げる短編劇のバトル。あなたの1票はどの作家に!?

- 【と き】 平成19年1月27日（土）  
 Aプロ 午後2時開演  
 Bプロ 午後6時30分開演  
 28日（日）  
 決勝巴戦 午後2時開演

- 【ところ】 風のホール  
 【入場料】 1公演券：1,800円  
 フレンズ：1,500円  
 3公演券：3,000円  
 フレンズ：2,700円  
 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください



## 初笑い ながくて寄席

「笑点」のレギュラーでおなじみの小遊三師匠と、浪曲界の改革派、国本武春さん出演の寄席です。

- 【と き】 平成19年2月4日（日）  
 午後2時開演  
 【ところ】 森のホール  
 【出演者】 三遊亭小遊三（落語）  
 国本武春（浪曲）  
 三増れ紋（江戸曲独楽）ほか  
 【入場料】 前売 一般：3,000円  
 フレンズ：2,500円  
 当日 共通：3,500円  
 ※ 未就学児の入場はご遠慮ください



## 映像鑑賞会

「光のホール」では名作を無料（定員100人：先着順）で上映し、「風のホール」では話題作を入場料500円で上映します。

### 「光のホール」上映作品 カサブランカ

【とき】 平成18年12月10日（日）午前10時/午後2時30分  
 【定員】 100人（先着順。定員になり次第、受付を終了します。）

### 「風のホール」上映作品 12人の優しい日本人

【とき】 平成19年1月13日（土）午前10時/午後2時30分  
 【入場料】 500円

※小学生から入場券が必要になります。  
 小さなお子様でも、席をご利用の場合は入場券が必要です。

## ◆チケット購入方法◆

公演チケットは、文化の家、アピタ長久手店2階長久手町サービスコーナー（Nピア）、チケットぴあでお買い求めいただけます。

- 文化の家チケット専用電話 0561-61-2888
- 長久手町サービスコーナー（Nピア）（アピタ長久手店2階） 0561-63-9200
- チケットぴあ 0570-02-9999

※ 前売り完売の場合、当日券は販売いたしません。  
 ※ フレンド価格での販売は前売りのみです。  
 ※ 出演者などは都合により変更になる場合があります。  
 ※ 未定部分につきましては、広報長久手または各事業のチラシにてご確認ください。

# フェスティバル

## 第8回 長久手町文化の家 フェスティバル

「文フェス」は長久手町文化の家のお祭りです。日ごろ、ここで活動しているいろいろな団体が集まって様々な発表やイベントを行います。何かやってみたいけど、何かあるのか分からない人は、ぜひこの機会に、いろいろと会場を回って活動の場を探してみませんか？

### 展示部門

【と き】平成18年11月21日（火）  
～26日（日）午前10時から午後6時まで  
【ところ】展示室（土・日は午後7時、最終日は午後5時まで）  
【内容】絵画、染色、ラッピング、ペインティングなど

### 舞台部門

【と き】平成18年11月25日（土）・26日（日）午後1時  
【ところ】25日（土）風のホール 26日（日）森のホール  
【内容】室内楽、舞踊、歌、ダンス、バレエなど

### パフォーマンス部門

【と き】11月25日（土）・26日（日）  
【ところ】美術室、食文化室、北ガレリア  
【内容】染付け体験、穀物菜食の試食、藍・草木染め

## 第4回 長久手町文化の家バンドフェスティバル

文化の家の音楽スタジオなどを利用しているバンドが一挙に集結。日ごろの練習成果を披露するとともに、利用者間の交流を深めます。

【と き】平成18年12月3日（日）正午  
【ところ】風のホール

## 第3回 吹奏楽フェスティバル in Nagakute

あの好評企画が今年度も行われます。大迫力の最終合同演奏は、見もの聴きもの。お見逃しのないように！

【と き】平成19年1月21日（日）午後1時  
【ところ】森のホール 要整理券  
【出演】町内の中学校、高等学校の吹奏楽部など  
【指揮者】長尾洪基



## 平成18年度フレンズ会員募集

平成18年度文化の家フレンズの会員を下記のとおり募集しています。

### ●会費●

個人会員	年額1,500円 (ただし、10月1日以降に入金の場合は1,000円)
家族会員 (個人会員と住所を同じくする人)	年額1,000円 (ただし、機関紙、事業案内などの郵送は省略させていただきます)
法人・グループ会員	年額15,000円 (ただし、10月1日以降に入金の場合は10,000円)
※会員の有効期限は、4月1日から翌年の3月31日までです	
※年度の途中で入金する場合は、入金日から最初に訪れる3月31日までになります	

### ●特典●

1	文化の家自主事業チケットの割引 (10%程度割引、会員1人につきチケット2枚まで、法人・グループ会員は20枚まで)
2	文化の家自主事業公演チケットの先行発売
3	機関紙、情報誌、事業案内などの刊行物郵送
4	フレンズが行う文化事業、交流事業への参加

【申込方法】文化の家事務室で、所定の用紙に住所、氏名、電話番号を記入の上、会費を添えてお申し込みください。

### 編集後記



「テレビよりもすごく迫力がありました」「生演奏ははじめてだったので嬉しかったです」。これは昨年の夏、町内の2中学校で初めて実現した訪問演奏会「フィンランド・ラ・テンペスタ室内オーケストラ」での生徒たちの声です。かれらの新鮮なまなざしを確かめながら、同じ町内の、かなり頻繁に「生演奏」の公演もしている文化の家が、生徒たちにとっては遠い存在であることを実感しました。

文化の家は、子ども向けないしは親子向けの事業にも力を入れ、「長久手子ども劇場」「長久手子ども音楽劇場」などのシリーズを中心に年間4～6本の公演をしています。しかし中・高校生らの若い世代を対象に、学校との連携で進めている事業は、「吹奏楽クリニック」

以外にはありませんでした。

わが国ではこのところ美術・博物館を中心に、欧米での先例を見ながら教育現場と直結した教育・普及プログラムが盛んに具体化されるようになりました。音楽や演劇を主としてですが、文化の家も早くからこの意義に着目し、幾つかの公演にトークや参加型などを組みこんで、積極的な参加・活用を期待し、教育機関へのラブコールなども試みてきました。

昨夏に始まった中学校でのアウトリーチ活動、訪問演奏は、忙しい学校現場のご理解のもとようやく実ったもので、さらなる充実化に向けての大きな一歩であったと思っています。

文化の家館長 川上 實

# 事業のご案内

## 11月 November

5日(日)

映像鑑賞会「オペラ座の怪人」

午前10時から 午後2時30分から ■風のホール

19日(日)

長久手フィルハーモニー管弦楽団 第8回定期演奏会

午後2時30分から ■森のホール

21日(火)～26日(日)

第8回長久手町文化の家フェスティバル

○展示部門 21日(火)～26日(日) 午前10時から午後6時 ■展示室

○舞台部門 25日(土) 午後1時から ■風のホール

26日(日) 午後1時から ■森のホール

○パフォーマンス部門 25日(土)・26日(日)

■美術室、食文化室、北ガレリア

## 12月 December

1日(金)

名古屋コンサート協会X

～冬の饗宴、バロックから文部省唱歌まで～

午後7時から ■森のホール

3日(日)

第4回長久手町文化の家バンドフェスティバル

正午から ■風のホール

9日(土)・10日(日)

提携事業

愛知県立芸術大学大学院オペラ公演「こうもり」

9日(土) 午後5時から

10日(日) 午後2時から ■森のホール

10日(日)

映像鑑賞会「カサブランカ」

午前10時から 午後2時30分から ■光のホール

16日(土)

踊りにいっけ!! Vol.7

午後6時から ■風のホール

17日(日)

フレンズのつどいPart.16 クリスマスパティー

午後2時から ■舞踊室

## 1月 January

13日(土)

映像鑑賞会「12人の優しい日本人」

午前10時から 午後2時30分から ■風のホール

21日(日)

第3回吹奏楽フェスティバル in Nagakute

午後1時から ■森のホール

27日(土)・28日(日)

劇王IV

27日(土) Aプログラム午後2時から Bプログラム午後6時30分から

28日(日) 決勝巴戦 午後2時から ■風のホール

## 2月 February

4日(日)

初笑い ながくて寄席

午後2時から ■森のホール

8日(金)

トム・プロジェクト プロデュース「カラフト伯父さん」

時間未定 ■森のホール

出演/ベンガル 岡田義徳 ほか

12日(月・祝)

Song & Dance ハムレット 作:シェイクスピア

午後4時から ■森のホール

出演/安寿ミラ 斎藤晴彦 ほか ピアノ/宮川彬良

18日(日)

ニューセンチュリーコーラスNagakute第9回演奏会

時間未定 ■森のホール

24日(土)・25日(日)

座★NAGAKUTE 第15回公演「頭ならびに腹」

24日(土) 午後7時から

25日(日) 午後2時から ■森のホール

## 3月 March

1日(木)

MONO公演「地獄でございます。」

午後7時から ■森のホール

※毎月行われるガレリア・コンサートは、7ページに掲載しています。

## 長久手町文化の家

〒480-1131

愛知県愛知郡長久手町大字長湫野田農94番地1

お問合せ=tel.0561-61-3411/fax.0561-61-2510 チケット専用=tel.0561-61-2888

http://www.bunka.nagakute.aichi.jp

休館日 = 月曜日(祝祭日の場合は翌日)および年末年始

開館時間 = 午前9時～午後10時

### 交通アクセス

地下鉄東山線藤が丘駅下車、「リニモ」はなみずき通駅下車、徒歩7分

地下鉄東山線藤が丘駅から車で5分

地下鉄東山線藤が丘駅下車、名鉄バス5番乗り場、長久手郵便局下車、徒歩8分

地下鉄東山線藤が丘駅下車、N-バス [Cルート]長久手郵便局下車、徒歩8分  
[Fルート]文化の家下車すぐ

名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、西島下車徒歩5分

東名高速道路名古屋インターから車で10分

